

いこいの村

川瀬マサエ

題字 梅の木寮（ユニット型）

2011年（平成23年）6月20日発行

第349号

発行責任者 いこいの村聴覚言語障害者センター

所長 柴田 浩志

編集 いこいの村編集委員会

〒629-1242

綾部市十倉名畑町久瀬谷2番地

TEL (0773) 46-0101

FAX (0773) 46-0610

<http://www.kyoto-chogen.or.jp/ikoi>



今年も天気でよかった

～ひのきの家 お弁当作り～



「おにぎりおいしい！」



お弁当、大成功！



「私のも作るで！」



「いただきまーす！」



「ひのきの家、バンザイ！」

青葉若葉が目にしみる五月
二十一日（土）、ひのきの家では
毎年恒例の行事となってい
るお弁当作りをしました。

皆さん慣れた手つきで、お
にぎりを握られます。自分の
お腹と相談しながら、
「三個食べるで、私は四個食
べる」

と、自分のお弁当箱に詰め、
賑やかに会話も弾みます。

お弁当は外のウッドデッキ
で食べ、澄み渡る青空におい
しい空気、心地よい風にも恵
まれ、皆さんいつもと違う環
境に食欲が増したように思い
ました。最後に、

「ひのきの家バンザイ、暑い
夏も頑張ろう」

と元気に誓いあいました。

（梅の木寮 ユニット型

森下 教子）

～お知らせ～

社会福祉法人

京都聴覚言語障害者福祉協会理事

【退 任】

桑迫 三男 （2011年3月31日）

【就 任】

高橋 秀文 （2011年5月21日）

完全参加と平等めざして

2011年5月13日

(於：東京日比谷)

「情報とコミュニケーションの法整備を求める全国集会」に参加しました

国会議事堂へデモ行進

「今日は、東京・日比谷公園を出発して二キロの距離をデモ行進するよ」

「耳が聞こえなくても、明るく元気に暮らせるように情報とコミュニケーションの法律の整備を。緊急時も手話や字幕によってテレビからの情報がわかるようになりたいね」

「全国各地から聴覚障害者関係団体が、集まっているんだよ」

「集会の規模は何人かな」

五月連休前、集会参加呼びかけがなされ、京都の聴覚障害者団体関係者からは、二十一名参加しました。ケアホーム「コスモス寮」から参加の嶋津さんと岩木さんの会話に、これから経験することへの期待が感じられます。

デモ行進出発点の日比谷公園は、七百人参加者の熱気であふれかえっていました。



デモ行進には、全国各地から700人が参加しました

の署名用紙が津波で流されたけれど、亡くなった会員を思い、濡れた一枚一枚を、いねいに乾かして、再度、署名活動に取り組んだことなどの報告がされました。

いが、込められていました。長崎県では、離島にも出向き、より多くの市民の理解を求め、活発に対話をなされているとのこと。

全国各地の仲間たちの行動に励まされると同時に、全国目標の百二十万筆と三十万パンプ普及達成に向け、頑張らねばと思いました。

「完全参加と平等」、非常時にも安心できる地域社会を実現していきましょう。

(栗の木寮 滝野千里)

コミュニケーションは、生存権に

被災地へ岩手・宮城・福島県の聴覚障害者の報告

災害発生から避難指示情報等、わからないまま過ごさざるをえなかった四日間。会員の安否確認に歩きまわったこと。避難所では、「補聴器の音がうるさい」と心無い言葉で、居場所がなく外で時間をつぶすしかなかったこと。WE LOVEコミュニケーション

直結していくのですから。聞こえない市民の存在をアピールし、理解を深めていくことが大切です。啓発活動として、「WE LOVEパンフの普及と署名活動」に取り組む報告には、各地の熱き思



地震、津波に破壊された暮らし

